

明治初期から現在までに発行された 雑誌の記事索引を、一括で検索できる、 唯一のデータベース



トライアル
実施中!

トライアル期間
11月30日
～12月31日

学内のみ：IP認証

こんなに凄い、「ざっさくプラス」!

明治から現在まで: 明治初期～1947年を中心に収録した「ざっさくプラス」独自のデータベースに、1948年以降を収録した国立国会図書館の雑誌記事索引データベース(NDL-OPAC)を繋ぎ、さらに空白期間を補完した、拡大版雑誌記事索引集成データベースです。

総合雑誌も地方誌も: 総合雑誌・専門誌から地方誌まで、搭載されたデータは、約1,330万件、雑誌タイトルは約26,000誌(2013年11月現在)。現在もなお日々更新中です。1948年以降の雑誌でも、国立国会図書館の採録基準から外れている場合はフォローしており、今後も補充作業を並行して続けていきます。

NDL・CiNiiと連携:

国立国会図書館(NDL)や国立情報学研究所(NII)のCiNiiと連携。検索サービスはもちろん、NDLの複写申し込みやCiNiiからの本文閲覧といった連携先のサービスをそのまま受けられます。

独自の類語辞書を構築:

新字・旧字に対応するほか、独自の用語集も構築しています。
●新・旧字に対応・・・江戸川乱歩 ↔ 江戸川亂歩
●ペンネームと本名双方をフォロー
.....夏目漱石 ↔ 夏目金之助
●外国語のカタカナ表記と当て字
.....カナダ ↔ 加奈陀

導入実績:

すでにハーバード大学、ロンドン大学東洋アフリカ研究学院、アメリカ議会図書館、オーストラリア国立図書館、北京外国語大学など、海外約50の大学・研究機関・公立図書館で導入。国内では東京大学、京都大学、早稲田大学、慶応大学や国立国会図書館、など約100の大学・国公立図書館・研究機関に導入され、近現代日本の諸分野での研究に幅広く寄与しています。

こんな方に、こんな風に「ざっさくプラス」!

研究職の方 - 論文執筆の資料収集を効率的に

研究のはじめに、まず著作目録や先行論文目録を作る必要があります。雑誌記事目録を作るには、それだけで相当の時間と労力を費やすもの。「ざっさくプラス」を利用すれば、それらが大幅に軽減されます。「ざっさくプラス」は、研究の基礎づくりのお手伝いをし、研究自体にかかる時間を多く作りだします。

学生の方 - レポートや卒業論文の参考資料に

雑誌記事を検索することは、いま抱えているテーマを歴史的に検証することでもあります。テーマに沿った記事がもれなく検索できるだけでなく、そのテーマがいつから注目されるようになったかも、検索結果のグラフで一目瞭然です。また逆に、そのグラフから新しいテーマを読み取るきっかけを得ることもあります。日頃から辞書を引くように気軽に検索を続けていると、いつの間にか「知のインフラ」が築かれていきます。

地方史、民族、郷土文芸、人物などを探るツールとして

NDLの採録基準から漏れてしまっている、小さな地方誌も採録しています。地域の歴史や風俗、郷土の作家など、稀少な資料を検索します。